

計画事業番号	00266	事務事業名	エコミュージアム普及推進事業	担当部署	教育部エコミュージアムセンター	電話	373-0188
--------	-------	-------	----------------	------	-----------------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則			
事務事業開始年度	平成17年度		個別計画等	北広島市文化振興計画「創造の時代への企画書」、北広島エコミュージアム推進委員会開催要綱、北広島エコミュージアム構想—まるごときたひろ博物館—、北広島エコミュージアム・コアセンターの設置及び運営に係る方針			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章)	人と文化を育むまち
	(第 5 節)	歴史の継承と創造
	(施策 1)	エコミュージアム構想の推進
2 対象	市民と市内各地域の遺産(自然遺産、歴史遺産、産業遺産等)	
3 目的と内容	<p>【事業概要】エコミュージアムセンターを拠点とし、市内各地に存在する自然遺産や歴史遺産などを現地において保存・育成・展示することをにより、魅力ある地域づくり・まちづくりを行政と市民の協働で推進する。また、郷土に関する学習や体験学習を通して郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い郷土愛を育む学習機会を提供する。 ※平成27年度から廃止したエコミュージアム拠点施設等整備事業の一部を引継ぎ実施している。</p> <p>【事業の目的】市民が文化財・郷土資料等について共通の認識に立ち、郷土を愛する気持ちを育み、地域の自然遺産や歴史遺産などに尊敬の念と感謝の気持ちを持って、自分たちのまちを誇りに思うようになることを目的とする。</p>	
4 実施内容(手段)	27年度まで	(1)まちを好きになる市民大学 (2)地域遺産発見バスツアー (3)エコミュージアム推進委員会の開催 (4)体験学習の場を提供 ①昆虫観察教室②カンジキDE自然観察 (5)企画展示の開催 ①「写真から見る北広島のあゆみ」②「知新の駅で大発見！北広島昆虫と植物」③「仕事とくらしの道具～大正・昭和の時代から」④「きたひろしまでマンモス！謎とロマンの物語」⑤「中山久蔵と島松駅通所」(①～⑤はH27年度事業) (6)エコミュージアム講演会
	28年度	(1)まちを好きになる市民大学 (2)地域遺産発見バスツアー (3)仮エコミュージアム事業推進委員会の開催 (4)体験学習の場を提供 ①昆虫観察教室②カンジキDE自然観察 (5)企画展示の開催 ①「祝いと記念の品々」②「明治・大正時代の広島村をたずねて」③「学芸員によるリレー展示」④「マンモス里帰り展」 (6)北広島マンモス大復活プロジェクト (7)エコミュージアム講演会

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	実績	計画	計画	計画
施設の運営 エコミュージアム推進委員会の開催 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 常設展示・企画展示・講演会の開催	平成28年3月31日現在入館者数～8,907人 エコミュージアム推進委員会の開催3回 市民大学の開講(1年生18回、2年生14回) バスツアーの実施(3回43人) 企画展3回、夏休み冬休みの子ども対象の特別展2回開催	施設の運営 エコミュージアム推進委員会の開催 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 常設展示・企画展示・講演会の開催	仮)エコミュージアム事業推進委員会の検討(地域遺産発見バスツアーの実施、講演会の開催) 施設の運営 まちを好きになる市民大学の開講・常設展示・企画展示・講演会の開催	仮)エコミュージアム事業推進委員会の検討(まちを好きになる市民大学の開講、市内見学バスツアーの実施、郷土学習・講演会の開催) 施設の運営 常設展示・企画展示・講演会の開催

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,897	6,436	8,877	8,877
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	583	651	1,120	1,120
		一般財源	3,314	5,785	7,757	7,757
		① 合計	3,897	6,436	8,877	8,877
	人件費	② 人数(年間)	0.30	0.30	0.30	0.30
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	2,700	2,700	2,700	2,700
		総事業費①+④	6,597	9,136	11,577	11,577

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①まちを好きになる市民大学入学者数	目標値	20	20	20	20
		実績値	8			
	②市内見学バスツアー	目標値	120	120	120	120
		実績値	43			
	③カンジキDE自然観察の実施	目標値	20	20	20	20
		実績値	24			
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	①まちを好きになる市民大学OB会会員	目標値	69	76	83	90
		【指標の定義(算式等)】 実績値	59			
	②	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				
	③	目標値				
		【指標の定義(算式等)】 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	エコミュージアムの観点から、市民協働により自然遺産や歴史遺産等を知り理解してもらい、我がまちに誇りを持って暮らすことを目指す事業として公費を充てる妥当性も上位施策への貢献度も高く、特定団体への利益とはならない。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	市民大学卒業生によるOB会が、自主的に自然遺産や歴史遺産を調査・発表する活動を通して、市民にエコミュージアムの理念を周知していることは成果であるが、サテライトの設定等は実施可能な箇所から順次取り組むこととしている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	OB会活動との連携充実、エコミュージアム講演会等の継続開催などにより、成果は向上する。また、市内各地区にサテライト等を順次設定して活用していくことによっても、成果は向上していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	事業参加料を得ながら、適正な受益者負担により実施しているため削減の余地はない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--